



平成26年度総会を開催しました



5月18日、県立図書館において総会が開かれ、25年度活動報告・決算、26年度活動計画・予算が承認されました。(会員66名が出席、委任状95人) また記念講演として鹿児島国際大学の養毛良助教授に「好きなことを伸ばす」として発達支援の道筋を具体的に話して頂きました。

さて、先日応募していた福祉医療機構から助成金の内定通知が届きました。「発達障害児の絆ネイチャー事業」と題して①ペアレントプログラムの実施②講演会(杉山登志郎、辻井正次、肥後祥治先生予定)③リレーファイルの作成④ホームページの作成を行います。特に①ペアレントプログラムは、辻井先生が作られた新しいプログラムで、昨年度行った思春期親子キャンプがきっかけで、取り組むことになりました。先生の講演の中の「特性は変わらないが行動は変えられる」の実践で、名古屋のアスペ・エルデの会、奄美市保育士会、のぞみ園との連携事業になります。



また、昨年度春日保育所をモデルに行った「発達障害幼児に対する早期支援事業」が保育士の支援力量形成にとっても有効だったため、今年度は小宿保育園で行う計画で、全国心身障害児福祉財団の事業をいただけることになりました。親子キャンプの予算もいただけますので、今年度は学童の親子キャンプをしましょうか?お母さん方で企画してください。今年度は、當島先生がかなり島に滞在する時間が多くなる予定です。相談でも講演でもムーブメントでも、お願いして有効活用(失礼?)をしましょう。事業が多くなり、事務局がとてもあわただしくなりそうです。どうぞ皆様それぞれの自分のできる範囲で、でもちょっとだけ無理をしてお力をいただけますようよろしくお願いいたします。  
理事長 向井 扶美

※ペアレントプログラムは、基本的には①「行動で考える」②(叱って対応するのではなく、適応行動ができたことを)褒めて対応する③母親に仲間を見つけるの3点セット。具体的には、隔週で6回(1回60~90分)を1クールとして3ヶ月のプログラムを行います。今年度はお母さん方10名、保育士さんなど指導者10名に講師の先生が加わり、来年度はこの指導者が講師になり、普及をしていきたいと考えています。参加希望の方事務局にご連絡ください

発達障害幼児に対する早期支援事業について

平成25年度は春日保育園を指定園として、園内委員会(2回)、訪問支援活動(3回)研修会(3回)、子育て支援フェスタを実施しました。

保育士の早期に気づく目と支援の力を向上する目的に現場で子どもをみながら医師、教育委員会、養護学校等、地域の関係機関が共に討議できた事は保育園にとっても有意義な活動で、保育士のスキルアップにも役だったと思います。今年度も是非、継続をと福祉財団にお願いしたところ、奄美の皆さんの熱心さと、今年度も予算を貰える事となりましたので、平成26年度は小宿保育園を指定園にし、園内委員会(2回)、訪問支援活動(3回)、研修会(3回)実施する事となりました。



★思春期キャンプ ~みんなで語り合い~ ★

全国心身障害児福祉財団の事業として、思春期キャンプを1月18日~19日の1泊2日の日程でばしゃ山村にて、7家族15名とスタッフが参加して開催しました。

18日(土)は関係者・保護者を対象に「アスペ・エルデの会」の立ち上げから中心となられた中京大学現代社会学部教授・臨床心理士:辻井 正次先生をお招きして「発達障害の思春期に遭遇する問題と支援」と題して講演を行いました。子ども達は、講演会の間、陶芸に挑戦し、それぞれ個性的な素敵な作品ができあがりました。夜は辻井先生を囲んでワークショップを行いました。子ども達も保護者も辻井先生の人柄になごやかな雰囲気の中で日頃の悩み等を語り合いました。



19日は徳州会病院の山口先生と理事長を囲んで親の会、大山先生をオブザーバーに子ども会を実施しました。近年、思春期の子どもを持つ保護者からの相談が増えている中で、保護者も子ども達も辻井先生に巡り合えたことは大きな財産になったと思います。ばしゃ山村の自然の中で、親子共リフレッシュできた2日間でした。

参加した方から、感想を聞いてみました!楽しかったですか?



久しぶりに陶芸をしたり、初めてばしゃ山に泊まれたので良かったです。いろんな事が初めての体験だったので良かったです。陶芸も自分の好きなかざりを付けて良かったです。ばしゃ山の景色がきれいでした。みんなで夜に遊べて良かったです。自由時間に、みんなで楽しく遊べて良かったです。陶芸の所からみる景色がキレイでびっくりしました。レストランでゆっくり食事ができたので良かったです。 藤 みつき

初めてばしゃ山村の中に入った。けっこう広々としていました。ごはんは、すごくおいしかったです。プールとビーチを見てキレイでした。陶芸を体験してみて、自分の作品がキレイにできたので良かったです。

た ん づ



きのうの朝、ばしゃ山村について、その後、とうげいをしました。おさらを作りました。とても良かったです。そのあとは、パンを買いにいきました。へやでパンをたべていると、夕ごはんの時間になったので、レストランに行きました。ごはんを食べ終わると、友だちの部屋に遊びに行きました。テレビをみんなで見ました。そのあとは、つじい先生に自己しょうかいをしたりしました。そして、おやが話をしているときに、子どもはあそんでいました。そのあと、お部屋であべれたり、お菓子を食べたりして遊びました。楽しかったです。





## 就学児親の会



6月7日(土) 就学児親の会を行いました。今回は、全体会と分科会に分けて進めてみました。全体会では、名瀬中学校1年生の保護者、秀 真由美さんの小学校生活を振り返って、学年ごとにぶち当たった壁やその時々どうやって乗り越えてきたかの、そして、現在の本人の成長ぶりなどが語られ、感動の講話でした。その後、低学年と高学年に分



かれて情報交換会が行われました。低学年では、新1年生の親から、子ども達が楽しく学校に通っている様子が語られ、夏休みの過ごし方等が話題に上がりました。また、高学年では、シビアな話題も多く、友達関係や学習への取り組み、先生との関係など難しい問題も見えてきました。楽しい学校生活の為にどんな事ができているのか?どんな事が必要か?考えていきましょう!

## ～お母さんの学習室に参加して～

「観察上手なお母さん」「ほめ上手なお母さん」「工夫上手なお母さん」「待ち上手なお母さん」とテキストの初めに書いてありました。テキストを読んだり、説明を受けた時は「うんうん、なるほど」と思っていたのですが、実際に取り組んでみると「上手くいかない、どうして、子どもが動いてくれないの?」と悩みながら進んできました。

学習室以外でも、学校の行事や相談会を通して行く中で、本人から「自分の思っている事が伝わらない」から「心が痛い」と言う事を言われました。自分が子どもに「獲得して欲しい行動(行動が出来たか来ていないか)」にばかり目が行ってしまい「してほしい行動に結びつかない本人の気持ち」を後回しにしていたことに気がきました。

この学習室のテキストも読み直した時、初めに書いてあった言葉や行動や結果には必ず本人なりの理由があると言う事が心に響いてきました。そして原点に戻って私自信の目を変えていくことから、もう一度始めようというところで気持ちが落ち着きました。子どもの少しでも、出来ていることに気付いて褒めてあげること目標にして子どもの行動を見るのではなく、気持ちを知るための関わり方を考えていくことにしました。そうしてみると「ねえ、ぼく頑張ったでしょ」「すごいでしょ」とよく言ってきていることにきがつくようになりました。これは「お母さん気付いて、僕のここを見て」ということなんだろうなと思えるようになってきました。今は、一日一つ以上出来ていることを見つけて褒めることを目標にしていますが、やっぱり注意したり、怒っている量の方が多いなあと反省を繰り返しています。

それでも、少しずつでも心に近づいて本人の心が痛い思いをするのを減らしていけるようにしていきたいと思っています。その先に獲得して欲しい結果(行動)につながっていくのかなあと考えています。これもペアレントトレーニングに参加させて頂き、皆さんの取り組みを聞かせてもらい、自分を振り返ることができた賜物だと感じています。また、躓いたときは、このテキストを読み返して、子どもと向き合う気持ちを思い出して一つ一つ進んでいこうと思っています。参加させて頂き、ありがとうございました。



昨年9月から今年2月までの期間で、行動療法の考え方をお子さんの関わりに役立てていただくための会として「お母さんの学習室」を4回開催しました。「なぜ観察・記録をするのか」「困った行動を減らすには」「できない時の手助けのしかた」などの講義やグループワークの他に実際に家庭で取り組みを行っていただく宿題もあり盛り沢山の内容でした。限られた時間と回数の中での実施でしたが、お母さん方や南九州病院療育指導室の講師の方々のご協力で知識を深める学びの場となりました。ありがとうございました。

## 寄付金をいただきました

財団法人鹿児島県職員互助会より、寄付金を頂きました。頂いた寄付金は、今年度の講演会や遊びの会に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。



## ～現場実習がんばりました!～

自宅を離れての職場体験学習に取り組むにあたり送迎面での課題があがりましたが、対応策が見つかり安心して学習することができました。そんな出来事を紹介したいと思います。



## 初めて親元離れての産業現場等における実習 ～窪田 初枝～

こんにちは。徳之島の窪田です。チャレンジドの方々にはいつも大変お世話になっております。初めに、今回大島養護学校の実習を実施するに当たり学校は勿論の事、実習を受け入れてくださいましたあしたば園さん、入所を受け入れてくださった星の園さんとの連携により予想を遥かに超える大きな成長を上げることが出来たことに心より感謝申し上げます。当初は学校、施設側も不安があったと思います。何故ならわたしの娘の通う高校は大島養護学校の訪問教育は徳之島高校の教室で行う形式で25年度より開設された学校で本校の生徒さんのように行えない面がたくさんありました。

今、在籍している脳性麻痺のうちの娘と同級生のダウン症の生徒は体力面も学習意欲も育つ力も本校に通う生徒と変わらぬくらいもっています。この二人は行政、地域の皆さんに理解され支えられ高校までを家族とともに過ごし自宅から学校へ通うことの願いが叶った二人です。私たちがそうだったよう学校で学んだ経験を生かしまだまだこれからも育つであろう自立心を同じように経験させてあげたくて強く望んだ実習でした。その親の願いと子供たちの力を学校側も十分理解して下さり手続き等準備をしてくださいました。その過程で入所施設から実習先への送迎面で課題があがりました。移動支援を利用すると一度の利用額が高額だった為レンタカーを借りたほうがよいのでは?と悩みましたが親が毎日送迎に入るのは本当に目指す環境ではありません。実際に奄美での進路を選んだ場合親と毎日顔を合わす事はないのですから。そんな私たちの無理なお願いを施設側も理解して下さり二人の子供たちは4泊5日の体験をすることが出来ました。実習が行えた事により関わる人や環境が変われば新たな成長や発見があるということを実感する事が出来ました。



最終日に流した二人の涙は皆さんへの感謝とやり遂げた自信の表れだと思います。念のため待機をしていました私は出勤もなく初めての一人暮らしを体験しておりました。親も子ども大きく成長出来た実り多き1週間でした。学生生活残り1年を駆け進路についてじっくり決めていく為に必要な貴重な経験になりました。この度の職場体験学習に当たり多くの方々のご理解とご協力がありましたことを心よりお礼申し上げます。

## 相談会・イベント等のお知らせ

小学生の療育キャンプをしまぁ～ず!

夏だぁ～! 休みだぁ! 今年も、キャンプしますよぉ～。

☆日程: 8月16日(土)～17日(日)

☆宿泊場所: 龍郷町「結いの家」 ☆参加費: 1人500円

☆対象者: 小学生の親子、兄弟

☆内容: 16日(土) 13:30～ 龍郷町どうくさや館集合

「當島先生による親子あそび」

そのほか、海水浴やワークショップをします。

\*「當島先生による親子遊び」のみの参加も可能です。

詳しくは、チャレンジドサポート奄美までお問い合わせください。定員に限りがあります。締切りは7月31日です。

## ～小児神経専門外来・発達療育相談会～

日時 9月12日(金) 県立大島病院

9月13日(土) のぞみ園

スタッフ 小児科 寛山医師

学療法士もしくは作業療法士・

発達相談員(南九州病院)

～子ども部会～

日時: 7月28日(月) 16:00～17:30

奄美地区自立支援協議会の子ども部会を今年も年3回開催予定です。今年は、リレーファイルの完成に向けての検討や、ペアレントプログラムなど地域支援、親支援ができる体制づくりに取り組んでいきたいと思っております。